第４回全国特別支援学校
フットサル大会東海地区大会

開 催 要 項

会場　名古屋市立笹島小学校・中学校　体育館
日時　2025 年7月 31 日(木)9:30～

主催　公益財団法人日本ライオンズ
主管　ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区　実行委員会
後援　愛知県特別支援学校長会　岐阜県特別支援学校長会
静岡県特別支援学校長会　三重県特別支援学校長会

ご　あ　い　さ　つ

第４回全国特別支援学校フットサル大会東海地区大会が開催できますことを大変うれしく思います。
そして本日を迎えるにあたりご尽力を賜りました先生方、ご父兄の皆様方そして後援の皆様方を始め、関係者の皆様におかれましては心より感謝を申し上げます。

この大会は生徒たちの“自立”と“RESPECT”への願いをコンセプトに掲げ、インクルーシブ社会の実現に向けた成長に寄与することを目的としています。

「人と関わること」「協力すること」「自分の思いを伝えること」と
いうとても大切な経験をしてきている中、社会の一員として生きていくうえで、
何より必要となる“自立”のちから。

そして戦後 80 年という節目の年である本年。平和の大切さ、人を思いやる心、多様性を認め合うことなど、他者を“RESPECT”するこころ。
この自立とリスペクトへの願いをフットサルというスポーツを通して実現していきたいと考えています。
どんな人も、自分らしく生きることができる「インクルーシブな社会」。
それは障がいのある人もない人も、互いに認め合い、支え合いながら共に生きていく社会です。
その実現のために、皆さんの行動は、とても大切な意味をもちます。今日の試合を通じて行動するのはもちろんの事、将来の就職や社会参加に向けて、学ぶことや働くことに興味をもち、自分の目標に向かって一歩ずつ歩んでください。そして、どんなときも、自分自身を大切にし、人をリスペクトする心を忘れないでください。

結びとなりますが、生徒の個々の願いを具現化するため、強い意志をもってご指導をされている各学校の教師の皆様方の熱意と創意工夫に対しまして、敬意と感謝を申し上げます。
本大会が、参加した生徒、学校関係者、保護者など、この場に集った皆様方のリスペクトする心により、お互いを大切に思いやる楽しい大会になればとご祈念申し上げご挨拶に代えさせていただきます。

2025 年7月31 日

公益財団法人日本ライオンズ
東海地区大会 大会長　大　山　恭　範

第４回　特別支援学校フットサル大会　東海大会

大会役員

大会長	大山　恭範	公益財団法人　日本ライオンズ　理事
副大会長	速水　清朗	ライオンズクラブ国際協会334-A地区　地区ガバナー
大会顧問	鈴木　誓男	ライオンズクラブ国際協会 GATエリアリーダー
大会実行委員長	野村　政司	334-A地区　公益財団法人　日本ライオンズ委員長
大会実行副委員長	高橋　敬	334-A地区　一宮ライオンズクラブ
大会事務局長	河村　修	334-A地区　名古屋中村ライオンズクラブ
大会実行委員	平湯　芳裕	ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ国際協会334-A地区　1R1Z　ｿﾞｰﾝ・ﾁｪｱﾊﾟｰｿﾝ
大会実行委員	原口　秀樹	ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ国際協会334-A地区　1R2Z　ｿﾞｰﾝ・ﾁｪｱﾊﾟｰｿﾝ
競技・審判委員長	永井　勇	愛知県知的障がい者サッカー連盟　会長

開会式並びに表彰式及び閉会式次第

●開会式	開会宣言	ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ国際協会334-A地区1R1Zｿﾞｰﾝ・ﾁｪｱﾊﾟｰｿﾝ	平湯　芳裕
9：30～	国歌斉唱		
	主催者挨拶	公益財団法人　日本ライオンズ　理事	大山　恭範
	祝　　辞	ライオンズクラブ国際協会　GATエリアリーダー	鈴木　誓男
		ライオンズクラブ国際協会334複合地区 ガバナー協議会議長	杉木　徹
	選手宣誓	愛知県立名古屋聾学校	中西　大翔
	大会注意	競技・審判委員長	永井　勇
	施設注意	大会事務局長	河村　修
●競技	予選リーグ・決勝トーナメント		
10：00～			
●表彰式・閉会式	優勝校表彰	ライオンズクラブ国際協会334-A地区　地区ガバナー	速水　清朗
15：00～	２位校表彰	ライオンズクラブ国際協会334-B地区　地区ガバナー	加藤　謙一
全員参加	３位校表彰	ライオンズクラブ国際協会334-C地区　地区ガバナー	杉山　節雄
	主催者謝辞	公益財団法人　日本ライオンズ　理事	大山　恭範
	閉会宣言	ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ国際協会334-A地区1R2Zｿﾞｰﾝ・ﾁｪｱﾊﾟｰｿﾝ	原口　秀樹
●記念品贈呈・集合写真			
15:30			

第４回全国特別支援学校フットサル大会　東海地区大会　開催要項

1	目　　的	本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めると共に、他校生徒に敬意を持って接することにより、広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催する。
2	会　　場	名古屋市立笹島小学校・中学校　体育館 〒450－0002　愛知県名古屋市中村区名駅４丁目19－1
3	日　　時	令和 ７年 7月 31日（木）　9:30～
4	主　　催	公益財団法人 日本ライオンズ
5	後　　援	愛知県特別支援学校長会、 岐阜県特別支援学校長会、 静岡県特別支援学校長会、 三重県特別支援学校長会
6	主　　管	ライオンズクラブ国際協会 334-A地区　実行委員会
7	協　　力	半田ライオンズクラブ、名古屋ウエストライオンズクラブ、名古屋中村ライオンズクラブ、一宮ライオンズクラブ
8	日　　程	9:30～ 開会式（全チーム参加を条件） 10:00～ 競技 15:00～ 閉会式（全チーム参加を条件）
9	大会方式	全国大会を目指す学校による「全国大会出場挑戦校大会」を行う
10	参加資格	①単一の特別支援学校での参加とし、同一校の生徒であるならば、障がい種別は問わない。対象は中学部か高等部の生徒で、基本的な競技規則や相手を大切にする行動を理解でき、暑熱時のフットサルの試合に耐えうる体力を有する者とする。 ②参加校は、生徒 3～8 名、引率 1～3 名、計 4～11 名で編成する。
11	競技規則	競技規則は、（公財）日本サッカー協会「フットサル競技規則」に準ずる。
12	表　　彰	①　優勝、準優勝、3位の学校まで表彰する。 ②　本大会にて優勝した学校は、令和 7 年（2025 年）11月 1 日（土）東京都で開催される全国特別支援学校フットサル大会への出場資格を得る。なお、都合により出場できない場合は、 準優勝校以下、上位校に参加優先権が与えられる。
13	参 加 料	無料
14	そ の 他	①大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で各校に助成する。 ※原則として、チーム構成員分（最大、選手8名分と引率者3名分とする）の、学校最寄り駅から名古屋駅までの往復運賃（障がい者割引適用、新幹線の利用も可）を予算の範囲内で助成する。 ②参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、各種の指導場面での留意に努める。 ③大会参加にあたって、各学校は旅行及びスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませる（日本スポーツ振興センター災害共済給付に加入している場合はこれに代わるものとする）。 ④大会当日のチーム構成員分の昼食弁当は、大会運営側で準備する。 ⑤本大会は、主催者が監督・コーチの立位及び座位でのベンチでの生徒への指示（選手交代時を除く）の一切を禁止するので、各校の日々の練習も、そのような生徒の主体的行動を促す指導に努めることを求める。 ⑥競技規則は、（公財）日本サッカー協会「フットサル競技規則」に準ずるが、参加学校の特性及び障がいの特性等に応じて、各ゲーム内において各参加校の共通理解

の下、適切に運用する。例えば、聴覚に障害のある生徒が出場する場合は、審判は手旗を使用する。
⑦競技時間は、10 分ランニングタイム制で行う。
⑧参加校は、本大会を主催する公益財団法人 日本ライオンズの大会の基本コンセプトを遵守する。

公益財団法人日本ライオンズの大会基本コンセプト『自立とRESPECT』

○ 自立への願い

公益財団法人日本ライオンズは、特別支援学校の多くの生徒が、卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるように、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指しています。

このため本大会は、通常のフットサル競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。

監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

○ RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。

この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECT行動を具体的に示す大会を目指します。

このため会場では、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒と先生、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを行うことを期待しています。

過年度の大会履歴

第１回大会	優勝	愛知県立名古屋聾学校
	準優勝	愛知県立春日井特別支援学校
第２回大会	優勝	愛知県立名古屋聾学校
	準優勝	岐阜県立西濃高等特別支援学校
第３回大会	優勝	愛知県立名古屋聾学校
	準優勝	三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園

第４回全国特別支援学校フットサル大会　東海地区大会　　競技規則

◎原則として、(公財)日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」を適用する。

①本大会の優勝校は、第4回全国特別支援学校フットサル大会に出場する。

②ボールは、4号フットサルボールを使用する。

③選手の交代は自由である。試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。交代時は、自陣ベンチ付近にてピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。監督は責任をもって、選手交代の管理監督を行う。

④キックインは、ボールがピッチから出た地点のサイドライン上から静止したボールを4秒以内に蹴る。 相手競技者はボールから5m以上離れる。

⑤ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から4秒以内に実施する。相手競技者は キーパーからボールがリリースされるまでペナルティエリア内に入ることが出来ない。

⑥キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。

⑦キックイン、フリーキック等による再開する際は、相手競技者は5m以上離れる。

⑧ファイブファウルは、決勝戦のみ適用する。この場合、前、後半それぞれ各チームの累積ファウル6つ目からファウルの起きた地点、もしくは第2ペナルティーマークのどちらからを選択し直接フリーキックを行う。この場合、ファウルをしたチームの選手は、GKを除きボールとゴールラインの間に位置することはできない。

⑨本大会の試合時間は、所定の時間のランニングタイム方式で行い、以下の予定とする。

・予選リーグ及び順位決定戦(決勝戦、両リーグ1位同士以外)…10分程度の１本を予定

・決勝戦は、10分ハーフ、前後半実施を予定

・参加校数により、リーグ戦等の形式も含めて、10分程度の１本を予定

⑩決勝戦の前、後半のコートチェンジは、時間の制限により行わない。

⑪順位の決定は以下のとおりとする。

1 勝ち点(勝利‥3点、引分‥1点、敗北‥0点)

2 得失点差(総得点 － 総失点)

3 総得点が多いチーム 4 当該チームの成績 5 抽選(コイントス)

⑫本大会の順位決定戦は、優勝決定戦と第3位決定戦を同時時間に行い、同点の場合は、両チーム3名のPK方式を実施し、勝敗を決める。

⑬タイムアウトは適用しない。

⑭安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。

なお、危険行為等が起きた際は、その場から直接フリーキックにて再開する。

⑮退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。

退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。

⑯選手は、同色のユニホームを着用する。ユニホームがない場合、又は両チーム同色の場合は、各チームのビブス(各チームはユニホームと色が異なるビブスを持参すること)の着用により対処する。

⑰出場選手は必ずレガースを着用することとする。

⑱ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品を装用することは禁止とする。ヘッドギアやフェイスマスク、 膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又は ゴーグル等でカバーすること。

いずれの場合もチームの第1試合の前に主催者の承認を得ることとする。

⑲ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。

⑳「監督のみ、交代指示及び身体等の危険・緊急時の指示」のコーチングを許可する。

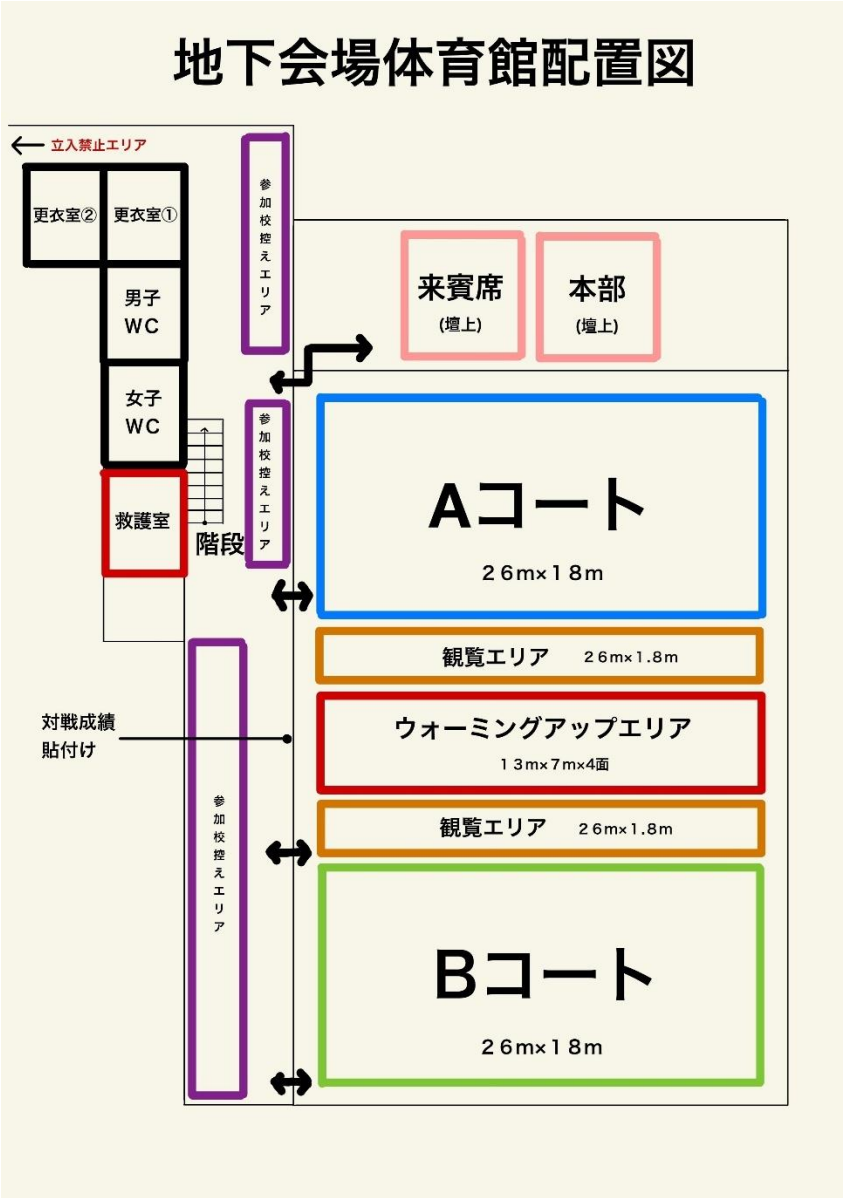
したがって、通常のゲーム中においては、監督及びコーチ等によるコーチングは本大会の主旨により、原則、禁止とする。

第３回全国特別支援学校フットサル大会東海地区代表
愛知県立名古屋聾学校の勇姿

試合時・施設の注意事項について

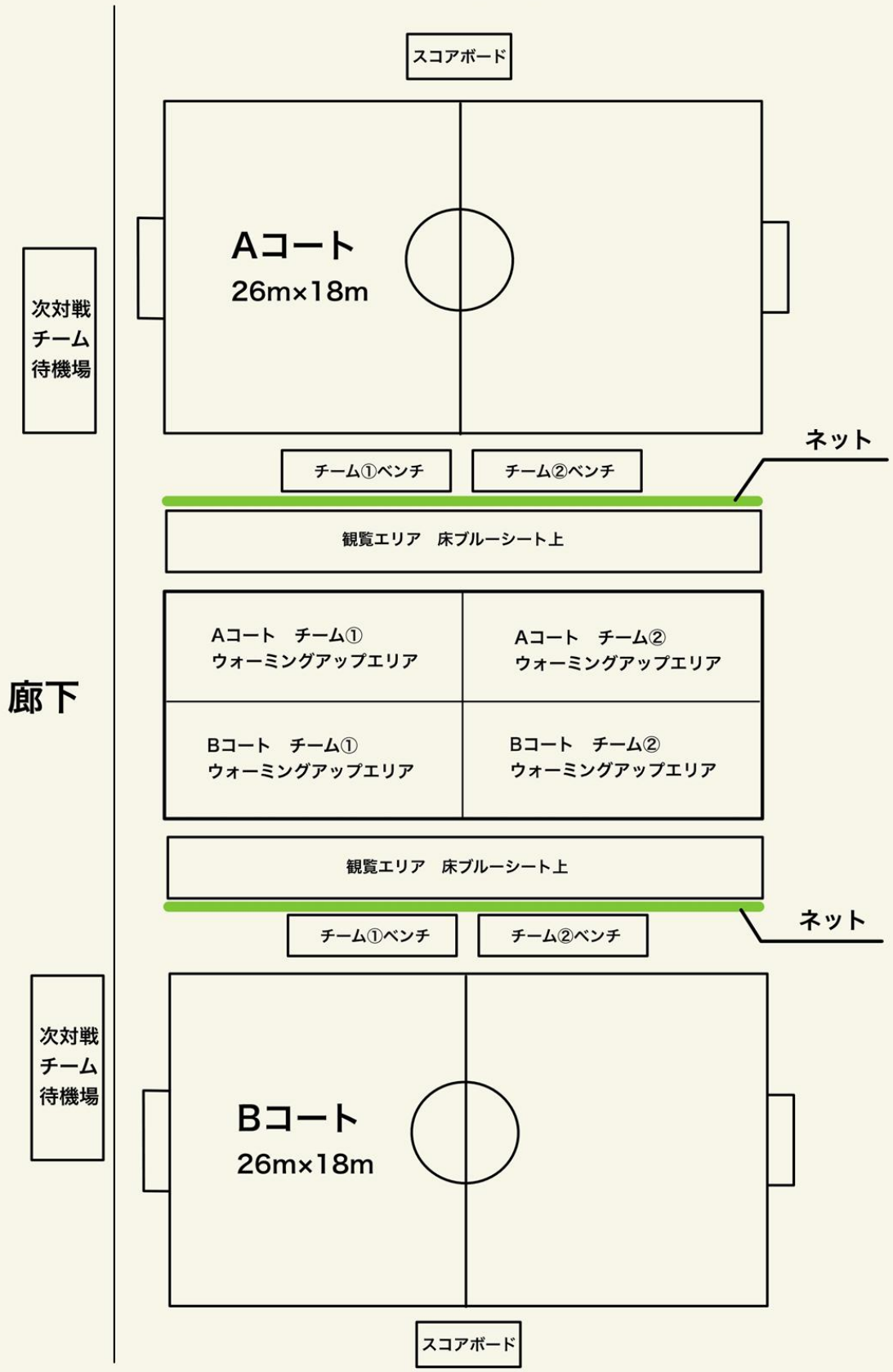
・試合は 10 分 1 本（ランニングタイム）
・決勝戦のみ 10 分ハーフ（10 分-5 分-10 分）
　コートチェンジは行いません

試合時について
※キックオフの時間は目安となっておりますのでスムーズにコート移動をお願いします。
※進行状況により試合時間は前後することがあります。
※大会が円滑に進行できるように主催・運営のご協力をお願い致します。
※スムーズな試合運びのため、次の試合を行うチームの皆さんは入口手前にありますので
　試合開始 5 分前には待機場所へお集まりください。



会場について
※コート内での飲食は禁止となります。
（水分補給は OK です）
飲食は選手の給水以外は、観覧席と選手控えエリアのブルーシート上で行ってください。
※会場敷地内は全面禁煙となります。

コート詳細


スコアボード
Aコート
26m×18m
次対戦
チーム
待機場
ネット
チーム①ベンチ
チーム②ベンチ
観覧エリア　床ブルーシート上
Aコート　チーム①
ウォーミングアップエリア
Aコート　チーム②
ウォーミングアップエリア
廊下
Bコート　チーム①
ウォーミングアップエリア
Bコート　チーム②
ウォーミングアップエリア
観覧エリア　床ブルーシート上
ネット
チーム①ベンチ
チーム②ベンチ
次対戦
チーム
待機場
Bコート
26m×18m
スコアボード

第４回全国特別支援学校フットサル大会　東海大会

予選リーグ

・4ブロックに分かれてのリーグ戦

・試合時間は１０分です

・各ブロックの勝ち点１位のチームは決勝トーナメントに進出！

Ａブロック

①大垣特別支援学校

②春日井高等特別支援学校

③御殿場特別支援学校　小山分校

④藤枝特別支援学校

Ｂブロック

⑤岐阜清流高等特別支援学校

⑥富士特別支援学校 富士東分校

⑦浜松特別支援学校

⑧三重県立稲葉特別支援学校

Ｃブロック

⑨ 本巣特別支援学校

⑩名古屋聾学校

⑪富士特別支援学校 富士宮分校

⑫くわな特別支援学校

Ｄブロック

⑬西濃高等特別支援学校

⑭袋井特別支援学校 磐田見付分校

⑮藤枝特別支援学校 焼津分校

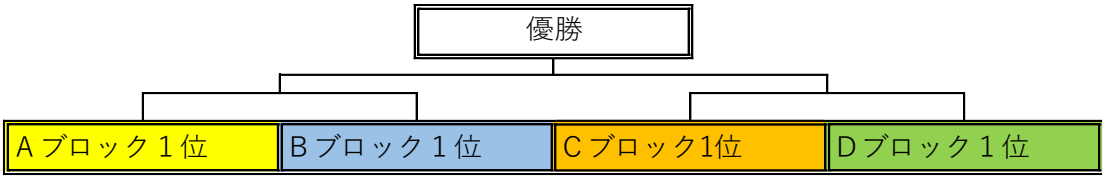
⑯三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園

⑰岐阜県立可茂特別支援学校

決勝トーナメント

・トーナメント方式

・試合時間は10分です　（但し決勝戦のみ10分ハーフの前後半とします）



予選試合順位の決定方法

1 勝ち点（勝利…３点、引き分け…１点、敗北…０点）

2 得失点差（総得点-総失点）

3 総得点が多いチーム

4 抽選（コイントス）

予選リーグ

	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝ち点
A	大垣特別支援学校							
	春日井高等特別支援学校							
	御殿場特別支援学校　小山分校							
	藤枝特別支援学校							
B	岐阜清流高等特別支援学校							
	富士特別支援学校 富士東分校							
	浜松特別支援学校							
	三重県立稲葉特別支援学校							
C	本巣特別支援学校							
	名古屋聾学校							
	富士特別支援学校 富士宮分校							
	くわな特別支援学校							
D	西濃高等特別支援学校							
	袋井特別支援学校 磐田見付分校							
	藤枝特別支援学校 焼津分校							
	三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園							
	岐阜県立可茂特別支援学校							

試合No.	試合時間		Aコート			審判班
1	第1試合	10:00	予選1	西濃高等特別支援学校	袋井特別支援学校 磐田見付分校	3
2	第2試合	10:15	予選2	大垣特別支援学校	春日井高等特別支援学校	1
3	第3試合	10:30	予選3	岐阜清流高等特別支援学校	富士特別支援学校 富士東分校	3
4	第4試合	10:45	予選4	西濃高等特別支援学校	岐阜県立可茂特別支援学校	1
5	第5試合	11:00	予選5	本巣特別支援学校	名古屋聾学校	3
6	第6試合	11:15	予選6	春日井高等特別支援学校	御殿場特別支援学校　小山分校	1
7	第7試合	11:30	予選7	三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園	岐阜県立可茂特別支援学校	3
8	第8試合	11:45	予選8	岐阜清流高等特別支援学校	浜松特別支援学校	1
9	第9試合	12:00	予選9	名古屋聾学校	富士特別支援学校 富士宮分校	3
10	第10試合	12:15	予選10	袋井特別支援学校 磐田見付分校	三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園	1
11	第11試合	12:30	予選11	大垣特別支援学校	御殿場特別支援学校　小山分校	3
12	第12試合	12:45	予選12	岐阜清流高等特別支援学校	三重県立稲葉特別支援学校	1
13	第13試合	13:00	予選13	本巣特別支援学校	富士特別支援学校 富士宮分校	3
14	第14試合	13:15	予選14	西濃高等特別支援学校	三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園	1
15	準決勝	13:45	準決勝	A1位	B1位	3
16	決勝・３決	14:15	決勝	ABの勝者	CDの勝者	1

審判のグループ

〇１班　西村直也、戸田昭彦、松田有毅

〇２班　松本尚久、鬼頭康介、覇島正彦

〇３班　高橋淳久、小池宏司、小寺直樹

〇４班　池山耕平、青木翔、秋本遼太

試合No.	試合時間		Bコート			審判班
1	第1試合	10:00	予選1	藤枝特別支援学校 焼津分校	三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園	4
2	第2試合	10:15	予選2	御殿場特別支援学校　小山分校	藤枝特別支援学校	2
3	第3試合	10:30	予選3	浜松特別支援学校	三重県立稲葉特別支援学校	4
4	第4試合	10:45	予選4	袋井特別支援学校 磐田見付分校	藤枝特別支援学校 焼津分校	2
5	第5試合	11:00	予選5	富士特別支援学校 富士宮分校	くわな特別支援学校	4
6	第6試合	11:15	予選6	大垣特別支援学校	藤枝特別支援学校	2
7	第7試合	11:30	予選7	西濃高等特別支援学校	藤枝特別支援学校 焼津分校	4
8	第8試合	11:45	予選8	富士特別支援学校 富士東分校	三重県立稲葉特別支援学校	2
9	第9試合	12:00	予選9	本巣特別支援学校	くわな特別支援学校	4
10	第10試合	12:15	予選10	藤枝特別支援学校 焼津分校	岐阜県立可茂特別支援学校	2
11	第11試合	12:30	予選11	春日井高等特別支援学校	藤枝特別支援学校	4
12	第12試合	12:45	予選12	富士特別支援学校 富士東分校	浜松特別支援学校	2
13	第13試合	13:00	予選13	名古屋聾学校	くわな特別支援学校	4
14	第14試合	13:15	予選14	袋井特別支援学校 磐田見付分校	岐阜県立可茂特別支援学校	2
15	準決勝	13:45	準決勝	C1位	D１位	4
16	決勝・３決	14:15	３決	ABの敗者	CDの敗者	2

審判のグループ

〇１班　西村直也、戸田昭彦、松田有毅

〇２班　松本尚久、鬼頭康介、覇島正彦

〇３班　高橋淳久、小池宏

選　手　名　簿

愛知県立春日井高等特別支援学校

責任者	丹羽　哲也	
引率者	山田　有規子	
引率者	正岡　麻莉奈	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高３	水野　隼輔
2	高２	伊藤　惇
3	高２	木本　健太
5	高３	鈴木　治希
7	高２	前田　虎治郎
9	高２	能代谷　琉太
10	高２	緒方　賢治
11	高３	栂野　拓夢

愛知県立名古屋聾学校

責任者	塩澤 直也	
引率者	吉村 雄太	
引率者	岡島 裕子	
背番号	(中・高)学年	氏名
1(25)	高２	田中 聖人
3	高専２	望月 秀都
4	高２	榊原 莉桜香
7	高３	岡田 昊樹
8	高２	西田 波琉
9	高２	中西 晴基
10	高専２	中西 大翔
15	高２	髙橋 絆爽璃

岐阜県立大垣特別支援学校

責任者	岩倉　賢吾	
引率者	衣斐　圭汰	
引率者	戸﨑　恵麻	
背番号	(中・高)学年	氏名
2	高３	柴田　椅凰璃
3	高３	三輪　正明
5	高３	吉田　大翔
１３	高２	良永　賢三
１５	高２	中嶋　丈登
１６	高２	田中　幸輝
２５	高１	良永　魁輝
８５	高１	谷口　幸自

岐阜県立可茂特別支援学校

責任者	北　直樹	
引率者	青木　舜	
引率者	森　直史	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高３	髙橋　斗真
2	高２	坂　颯斗
3	高２	山手　ルカス
4	高２	近藤　佳希
5	高３	夏田　信之介
6	高３	南園　瑛心
7	高２	鈴木　凰太郎
8	高３	水野　銀士

岐阜県立西濃高等特別支援学校

責任者	足立　圭太	
引率者	中川　基広	
引率者	吉村　颯太	
背番号	(中・高)学年	氏名
３９	高３	安藤　翼
７	高３	岩本　勝明
２	高３	照喜名　優太
３	高３	吉田　圭吾
１０	高３	伊藤　未来
１１	高２	遠藤　蒼友
５	高２	清水　陽星
８	高１	片山　竜吾

岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校

責任者	三好宗治	
引率者	森　京次	
引率者	田島　嶺	
背番号	(中・高)学年	氏名
１	高３	喜多川　寛太
２	高２	福島　颯太
３	高１	山内　治人
４	高１	赤畑　有郎
５	高１	次松　尚輝
６	高２	翁　楽岐
７	高２	有田　龍生
８	高２	柴山　正也

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

責任者	藤盛 圭	
引率者	西川　幸也	
引率者	淺井　勇樹	
背番号	(中・高)学年	氏名
１	高３	長屋　颯馬
２	高２	山内　蒼大
３	高２	安藤　佑
４	高２	藤丸　陽温
５	高２	宇佐美　奏空
６	高２	藤原　悠希
７	高３	大橋　裕太朗
８	高３	遠矢　光輝

静岡県立御殿場特別支援学校
小山分校

責任者	柚岡　瞬	
引率者	岩田　大悟	
引率者	大村　孝行	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高２	岩田　浩太朗
2	高２	佐藤　来琉
3	高２	櫻井　結羽
4	高１	勝又　平伍
5	高２	濵村　優翔
6	高１	武藤　裕紀
7	高２	横山　翔竜
8	高２	岩瀬　來翔

静岡県立浜松特別支援学校

責任者	石津　直哉	
引率者	花田　直人	
引率者	渡邊　浩昭	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高３	梅林　優斗
2	高３	村山　寛太
3	高２	内山　智可良
4	高２	松井　太瑶
5	高２	山本　遥生
6	高１	外山　大虎
7	高１	久保　凛太朗

静岡県立袋井特別支援学校
磐田見付分校

責任者	長谷川　崇	
引率者	竹村　一郎	
引率者	生子　菜々子	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高１	鈴木　七海
2	高２	古川　リュウキ
3	高２	竹内　駿介
4	高３	川手　渉生
5	高３	松下　哩久
6	高３	瀧澤　虎聖
7	高３	寺田　大翔
8	高２	宮下　柊

静岡県立藤枝特別支援学校

責任者	大石　俊一	
引率者	河原　宏冶	
引率者	安藤　純也	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高１	小林　蒼空
2	高３	斎藤　杷月
3	高３	早川　雷人
4	高３	伊藤　晴哉
5	高３	永井　涼太
6	高２	加藤　春空
7	高１	牧田　青龍
12	高１	矢澤　諒太

静岡県立藤枝特別支援学校
焼津分校

責任者	岡本　淳	
引率者	迫本　理絵	
引率者	宮崎　靖	
背番号	(中・高)学年	氏名
１０	高３	増田　晃人
９	高３	佐伯　拓哉
４	高３	大畑　諒哉
５	高３	宇治　大和
２	高２	山梨　悟
１	高２	渡部　亘明
７	高１	牧田　黄龍
１１	高１	鈴木　陽斗

静岡県立富士特別支援学校
富士東分校

責任者	杉澤　陵太	
引率者	大河原　浩信	
引率者	栗田　雅央	
背番号	(中・高)学年	氏名
20	高３	鈴木　としお
２	高３	秋山　心
６	高１	森内　蒼
７	高３	髙橋　勝生
９	高３	小澤　絵美
10	高２	原　海夢斗
11	高１	望月　拓真
18	高３	石澤　龍一

静岡県立富士特別支援学校
富士宮分校

責任者	後藤　大河	
引率者	遠藤　純基	
引率者	金岡　涼	
背番号	(中・高)学年	氏名
10	高３	熊　顕只
１	高３	野田　蒼生
３	高３	仲川　愛斗
７	高２	深澤　匠斗
８	高２	保坂　隆太
11	高２	松井　颯志
18	高３	髙木　弐朗
19	高３	イシバシ　ブルノ

三重県立稲葉特別支援学校

責任者	等農　広志	
引率者	森　祐斗	
引率者	種村　孝司	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高３	杉本　光輝
2	高３	堀尾　健心
3	高３	中山　将喜
5	高２	花川　由樹
6	高２	西浦　竜正
7	高２	西浦　義寅
10	高２	中林　滉
11	高２	三浦　康佑

三重県立くわな特別支援学校

責任者	西村　知也	
引率者	櫛田　宥	
引率者	森　貴明	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高３	伊藤　彰真
2	高３	伊藤　琉偉
3	高３	鈴木　結翔
4	高３	恒川　渉
5	高２	小川　陽向汰
6	高２	石川　琥珀
7	高１	石川　琉玖
8	高１	井村　リカルド

三重県立特別支援学校　伊賀つばさ学園

責任者	突山　祐	
引率者	佐藤　良	
引率者	佐野　宏弥	
背番号	(中・高)学年	氏名
1	高１	田邊　翔琉
2	高１	藤田　遥翔
3	高２	城山　直人
4	高２	西岡　波菜
5	中２	南部　龍
6	中２	福井　貫太
7	高２	大垣　晴翔
8	高３	中井　瑛太

五十音順に記載しています

選　手　宣　誓

宣誓！我々選手一同は、この大会に向けて、日々努力を重ねてきました。
今、ここに立てているのは、共に練習してきた仲間や卒業された先輩方、
私たちを支えてくださった家族や先生方、そして、本大会を支えてくださった
全ての方々のおかげです。
この感謝の思いを胸に、一戦一戦を全力で戦い抜くことを誓います。

選手代表　愛知県立名古屋聾学校　中西大翔

公益財団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋１丁目八重洲ノリオビル５階
ＴＥＬ03-6262-6108